

平成30年度長野県長野高等学校全日制 学校評価 (保護者・学校評議員・教職員) 2～3月実施

丸数字は保護者からの意見(数字は学年)、○は職員からの意見、★は学校評議員からの意見を表します。

分野	評価項目	評価の観点	保護者評価					指標	学校評議員評価				指標	職員評価				指標	意見や提言	番号	14	校名	長野高等学校										
			A	B	C	D	U		A	B	C	D		A	B	C	D						A	B	C	D	U						
深い学びを目指した授業の改善と充実	深い学びの実現	①	生徒の学び意欲とともに思考力・判断力・表現力等を育む「深い学び」を目指した授業が実践されている。	136	379	43	15	20	78	3	3	0	0	80	12	23	1	0	83	①シラバスと成績表の評価があっていないと思われる教科がありました。再度見直しをお願いします。 ①課題や副教材が多すぎます。精選して効率よく学習させてほしい。 ②電子黒板が全く見えない席もあると聞きます。机の配置等配慮をお願いします。 ★大人より子どもの方がCTに慣れ親しみ、通じている現実があるため、先生方のICTリテラシー等の向上が非常に重要になってくると思う。	★ 4段階で関係者評価を実施し、点数化してグラフにしました。平均点の算出方法は、段階Aに4点、Bに3点、Cに2点、Dに1点を与え、U(わからない)と無答は除外し、100点満点で表示するため25倍しています。(下表参照) ★ 意見や提言は、すべては掲載できませんので、概要として主なものを掲載しました。	選択肢	A	B	C	D	U						
		②	保護者や広く地域の方に授業を公開するとともに、本校職員の間でも授業を互見し、授業改善に役立っている。	192	338	41	8	16	81	4	2	0	0	90	18	17	1	0	87	○他の先生方の授業を見る機会が少なかった。何人か素晴らしい授業をされている(生徒の評価が高い) ○個人的には他の先生の授業を見させていただいたり、自分の授業を見ていただくことができなかった。評価されることに対して積極的でありたい。													
		③	各種試験の位置づけを踏まえ、その結果を教科内で分析・共有し、生徒の学力に応じた指導に生かしている。	167	319	65	20	24	78	2	4	0	0	85	10	19	7	0	77	①土曜日はしっかり休ませる日とし、模試を効率よく精選した内容にすべきだと思う。 ②模試が多すぎるのではないかと思う。 ○試験をすること(生徒に勉強させること)と同様に、各試験を分析し、指導に活かすことに力を注ぐべきだ。													
	進路を拓く学現	④	新学習指導要領の趣旨や高大接続改革の状況を的確に把握して生徒や保護者に情報提供するとともに、本校の課題に取り組んでいる。	153	346	64	13	19	78	4	2	0	0	80	16	17	3	0	84	○大学入学者選抜改革の状況を中心に、学年PTA総会で講師を招聘した講演会を実施したり、学年通信等で随時情報を発信するよう心掛けた。								十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分	わからない	
		⑤	「大学の先にある社会」を意識しながら文理選択や学部学科選択を行うキャリア教育・進路指導が実践できている。	142	344	73	19	16	76	2	3	1	0	85	13	21	2	0	83	②オープンキャンパスに参加しやすい班活動をお願いします。 ○本校では、東大セミナー、筑波大・東北セミナー、学部学科研究会、オープンキャンパス報告会などを通して、文理選択、大学学部学科選択に役立っているが、「大学の先にある社会」は、不明確な面もあり、意識づけが難しい現状にある。								解答数	a人	b人	c人	d人	u人
基本的生活習慣・主体的生活習慣の確立	主体的生活習慣の充実	⑥	生徒会や班活動等の教育活動の充実・活性化に努め、主体的・自立的な生徒の育成を図っている。	217	321	38	6	12	82	1	5	0	0	95	12	23	1	0	83	○学習指導と生徒の主体的活動とのバランスが崩れてはいるのではないかと。	人数	a+b+c+d=n (指標の計算に u は含まれません)											
		⑦	生徒会・班活動と家庭学習時間のバランスを図り、学習習慣の確立と学力の定着に努めている。	133	329	85	24	21	75	1	4	1	0	65	4	26	6	0	74	①金鵬会館や自習室をもっと長く解放してもらえとありがたい。 ②土日のどちらかは班活動を休みにして、学習時間を確保してほしい。平日の班活動時間を18:30までにしてほしい。 ★やる事が多すぎて、精神面・健康面で負担が重いと感じている生徒もいるのではないかと。 ★全国総文祭での受賞件数を増やしたい。特に自然科学部門について強化を望む。		4点	3点	2点	1点	なし							
SGH事業の深化	グローバル人材の育成	⑧	SGH事業のこれまでの実績の上に、グローバル人材を育成するためのカリキュラムの開発と実践に努めている。	170	316	59	14	31	79	6	0	0	0	95	17	18	1	0	86	②SGH事業は全ての生徒にとって有益であるとは思えない。希望者のみにするなど変革が必要な時期と考える。 ○後継事業の内容について、カリキュラム全体を踏まえて議論の必要があるのではないかと。 ★英語でディベートする授業を短時間参観しましたが、「コミュニケーション能力」や「発信力」を高め、グローバルリズムや多様性を意識した取組が行われていると心強く感じました。	指標	25×(4a+3b+2c+d)/n											
		⑨	SGH事業の指定期間が終了後の「深い学び」を目指すカリキュラムを構想し、実現に向けた取組に努めている。	107	307	84	20	72	74	1	5	0	0	80	10	19	5	1	77	○SGH後に本校が目指すのはグローバルな人材の育成か、それともグローバルな人材の育成なのか、それともグローバルな指導を通してグローバルな人材の育成を目指すのか、ややはっきりしない面がある。 ★具体性がまだ見えてきませんが、期待したいと思います。 ★SGHの大きな成果を生かし、後継事業でのさらなる八手に期待したい。													
安全・安心な学校づくり	自他を大切にできる姿勢の育成	⑩	豊かなコミュニケーションを通じて互いを尊重し、支え合う生徒集団の形成に努めるとともに、生徒の安全管理意識を高める指導を実践している。	120	363	67	16	23	76	1	5	0	0	80	10	24	1	1	80	①スマホをもっていない生徒も生徒への配慮をお願いします。 ①安全・安心な学校づくりをお願いします。 ○「他」に対する視野の広さと感謝の心を育てたい。清掃している生徒や先生、校内外の修繕等で出入りしている業者など、もっと挨拶の声があつて良いのにと思う。 ★生徒自ら安全意識が高められる指導がなされている。	安全・安心な学校づくり	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		⑪	清潔でバリアフリーの学習環境をつくるとともに、心や身体に悩みを抱える生徒に温かな支援ができています。	128	339	69	27	28	75	3	2	1	0	80	15	19	2	0	84	①②③トイレの完全洋式化を迅速に進めてほしい。 ○冬季の廊下・トイレが寒い。健康維持のために、学校でできる配慮はすべきだと思う。 ○トイレを明るく綺麗な方が、生徒も安心して利用できると思う。 ★設備の整備がなされ、バリアフリー化が進んでいる。心の健康に関する相談・支援体制についても丁寧に構築されている。													
		⑫	保護者や地域の方々の意見に対して迅速に対応するとともに、学校の情報を積極的に公開・発信している。	154	322	63	20	32	77	3	3	0	0	90	18	15	3	0	85	①学校からの書類・通知が小さいものが多く、よく読めない。改善してほしい。 ②台風等への危機管理対策が遅く、遠方から通う生徒もいるので、迅速に対応してほしい。 ②長野市内の不審者情報が高校にも来ているのであれば、配信してほしい。 ②「きずなネット」が活用されていないように思う。 ②台湾研修旅行やスキー合宿等の行事では、現地の様子などを保護者に発信してほしい。 ★洋式トイレの設置が少ないので増やした方がよいと思われる。 ★長野市第二地区、三輪地区住民自治協議会が取り組んでいる交通事故対策に理解を示し、通学生の自転車利用マナーが通学路において実践されている。 ★演奏会や作品展などの広報を通じて班活動の地域への発信も強化できるとよいと思う。													
全体に関する評価	校長を中心とした長野高校の教育活動に全体として満足している。	保護者評価		生徒評価					【学校より】本年度も学校評価に際しまして、多くの保護者・生徒及び学校評議員の皆様よりご協力を賜り厚く御礼申し上げます。◇昨年度と比較して、保護者の皆様方のポイントが上がったのは、⑤のキャリア教育・進路指導、⑦生徒会・班活動と家庭学習時間のバランス、の2項目でした。⑤については、将来広く社会において貢献できる生徒の育成を目指し、確かな知識・技能の上に、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働的に学ぶ態度、という、これからの時代をよりよく生きるために必要な、いわゆる「学力の3要素」の定着・伸長に向け、本校としても課題研究のさらなる充実に向けて取り組んでまいります。なお、2022年度より年次進行となる新学習指導要領への移行を踏まえ、次年度より県内全ての公立高校1年生において、「総合的な探究の時間」を授業時間に組み込んで先行実施いたします。本校においては既に5年前から始めている課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現という探究学習が、これからはスタンダードな学びとして広く行われることとなります。同時に、2020年度からの「大学入学共通テスト」実施に象徴される大学入学者選抜改革への対策として、記述力の向上、話す力を中心とする英語4技能の育成に力を入れていくとともに、多面的な評価の重視に対応するポートフォリオの蓄積、「学びの基礎診断」としての外部ツール活用によるPDCAサイクルの確立に努めてまいります。⑦に関して、温かい評価を頂く一方で、学校生活の多忙化による生徒の疲労、それに伴う学習効率の低下・意欲の減退を懸念するご意見を複数頂いております。先日策定された「長野県高等学校の運動部活動方針」の新年度からの運用を踏まえ、学校として教育活動全体を見直し、授業をはじめ校内テスト・郊外模試、班活動、学校行事等を精選し、より効果的・効率的な実施に向けた検討を進めてまいります。また、⑫について、情報発信に関するご要望を頂いております。学校のHPを中心に、こまめな情報の更新を心がけ、学校の様々な取組についてお伝えしてまいります。学校への要望・意見につきましてはいつでもお気軽にお寄せください。					154	364	45	16	11	78	137	347	48	33	20	74								
		保護者評価		生徒評価					192	346	30	6	12	82	213	309	35	10	14	84													

